

～第42回花壇コンクール～ 最優秀賞は活汲農村公園



【最優秀賞】活汲農村公園（活汲中央自治会）



【優秀賞】幸町自治会



【優秀賞】共和寿クラブ



▼【優良賞】
東達美会館（東達美自治会女性部）

▲【優良賞】
豊永会館（豊永第一農事組合育苗団体）



【優秀賞】津別町商工会女性部



【努力賞】友楽園
（友楽園すこやかクラブ）



【努力賞】町道105号
線神社前（津別神社）

「津別町花のまち推進協議会」では、花いっぱい運動を育成助長することで、うるおいのある美しいまちづくりに寄与しています。

その一環として、今回で42回目となる花壇コンクールが実施されました。8月18日に協議会役員による審査が開かれ、審査の結果、活汲農村公園花壇が2年連続で最優秀賞に選ばれたのをはじめ、全8花壇が入賞しました。

なお、表彰式は、11月中旬に開催予定です。

地方創生の 取り組み 36

コロナ禍で会議への参加が増える？

一部の国では、ワクチンが実用段階にも関わらず、未だ収束は見えてこない状況です。

そんな中ですが、会議や研修会、講演会への参加の機会が増えています。

今までは、地方から都市へ出向いて参加していましたが、最近ではウェブ会議へ移行しており、東京で開催していた会議も、インターネットを介して受けられ、気軽に参加できるようになりました。

これをきっかけに地方と都市の距離が、更に近づくことと思います。

第1回市街地総合再生基本計画推進協議会が開催されました

津別町市街地総合再生基本計画（概要版を広報8月号に折込）におけるコミュニティ整備地区、現在の議会議事堂からグリーンマートまでの再開発について、町及び開発事業者（アルファコート）とどのような事業計画とするかを協議する第1回の市街地総合再生基本計画推進協議会（以下「協議会」という）が、9月7日に開催されました。

協議会の構成は、学識経験者及び町内の各団体から推薦された15名で組織され、任期は整備事業の設計が完了するまでとなっています。また、協議会、一般公開で行われ当日は24名の方が傍聴されました。

第1回の会議において、会長に北海道科学大学の濱谷雅弘教授を、副会長に津別町農業協同組合の岡本幸年常務理事が選出され、議事に入りました。

当初、開発事業者が誘致を進めていたドラッグストアが、出店できないと判断したため、町として再度ドラッグストア

3社に出店の可能性について協議を申し入れたところ、当初とは別のドラッグストアが協議に応じ、今後、出店の可否について、話し合いの場を持つことが報告されました。

また、開発事業者からの提案内容説明を受け、委員からは「図書館とコミュニティ施設の融合は良いと思う」、「ドラッグストアが出店しない場合、計画を見直すという姿勢は評価する」、「新しく整備されるのを機に、ポイントカードなど導入してはどうか」、「事業費の詳細を示して欲しい」など、2時間を超える議論の中、多くの意見を頂きました。

町と開発事業者で、これらの意見を今後の計画に活かし、また、要望に添えてまいります。

なお、協議会の議事録は協議会の承認後、ホームページにて随時公開する予定です。

8月にHALCCが 来町し、高大連携事業本格始動！

先月号で今年度第1回目の事業がオンライン開催となった旨を紹介した本事業ですが、

《津別町空き家バンクの利用状況》

※8月末現在

・登録物件数

建 物	貸したい	6件
	売りたい	9件
土 地	貸したい	0件
	売りたい	15件

・物件を探している登録者数

建 物	借りたい	24名
	買いたい	35名
土 地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.tsubetsu-estate.com/>

【問い合わせ先】

北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク ☎77-6081

今回は町の取り組みについて第6次総合計画を用い、自分の理想と実際の方向性を比較し、深掘りしていく予定です。

問い合わせ先
住民企画課企画係
☎76-2151（内線241）
e-mail: tsubetsusei@gmail.com



▶高大連携ワークショップに取り組み高校生と大学生